

平成31年3月20日



平成30年名古屋港港湾統計速報

(概況)

入港船舶は、隻数が33,401隻(前年同期比1.4%増)、総トン数が2億3,761万トン(同3.4%増)と、隻数、総トン数ともに前年実績を上回った。

総取扱貨物量は、1億9,652万トン(同0.3%増)と前年実績を上回った。

そのうち、外貿貨物では、輸出は完成自動車、産業機械等が増加し、5,371万トン(同2.0%増)と前年実績を上回り、輸入もLNG(液化天然ガス)、衣服・身廻品・はきもの等の増加により7,594万トン(同0.9%増)と前年実績を上回り、全体では1億2,965万トン(同1.4%増)と前年実績を上回った。

また、内貿貨物では、移出は3,509万トン(同2.5%減)、移入は3,178万トン(同1.0%減)とともに前年実績を下回り、全体で6,687万トン(同1.8%減)と前年実績を下回った。

外貿貨物のうち、コンテナ貨物では、輸出は産業機械等の増加により2,484万トン(同1.2%増)、輸入は衣服・身廻品・はきもの等の増加により2,468万トン(同1.8%増)とともに前年実績を上回り、全体で4,951万トン(同1.5%増)と前年実績を上回った。

コンテナ取扱個数は、外貿コンテナは270万TEU(同4.3%増)となり過去最高となった。内貿コンテナは18万TEU(同9.7%減)となり、外内貿合わせて288万TEU(同3.3%増)と前年実績を上回った。

外貿貨物の国別取扱貨物量は、上位5ヶ国を見ると、輸出においては、中国が自動車部品等の減少により678万トン(同6.1%減)、アメリカが完成自動車等の増加により438万トン(同5.8%増)、アラブ首長国が完成自動車等の増加により416万トン(同4.6%増)、タイが自動車部品等の増加により258万トン(同4.6%増)、オーストラリアが非金属鉱物等の減少により237万トン(同13.2%減)となった。

一方、輸入においては、オーストラリアが鉄鉱石、LNG(液化天然ガス)等の減少により1,433万トン(同4.5%減)、中国が鉄鉱石等の増加により1,357万トン(同8.6%増)、カタールがLNG(液化天然ガス)等の増加により703万トン(同7.5%増)、アメリカがとうもろこし等の増加により528万トン(同1.4%増)、マレーシアがLNG(液化天然ガス)等の増加により381万トン(同12.6%増)となった。